

はい  
ママパライン仙台です

## 「2022年度のまとめ」

2022年度（R.4年4月～R.5年3月）「ママパライン仙台」の事業報告をいたします。

### 1. ママパライン仙台常設事業

- ◆ママパライン仙台開設：57日間  
（毎週金曜日及び全国キャンペーン2/13～18）
- ◆電話を受けた件数：140件。  
（母親：133件、父親：2件、2無言・一言：5件）
- ◆総通話時間：5,534分。  
（平均約41分・無言一言除く）
- ◆受け手研修・スキルアップ研修：12回。  
参加者：延べ119名。
- ◆広報活動  
カード187,000枚を作成。宮城県内小学校、幼稚園、児童館、市民センター、子育て支援機関及び民間諸施設・団体に配布。

### 2. 子育て応援講座

- ◆11月13日・20日・27日に6講座を実施。  
案内チラシ：5,000枚作成、配布。  
参加者：延べ144名

### 3. 参加者の声

- ◆電話をかけてきた方から
  - ・今まで否定ばかりされていたので、認めてもらって嬉しい。電話をかけて良かった。
  - ・周りの人に話せないこと聞いてもらって、少し落ち着きました。
- ◆受け手研修参加者から
  - ・定期的に振り返ったり、学び直したりが大切だと思っています。研修等で、自分のモヤモヤを共有してもらい、他の受け手の方の意見をお聞きし、スーパーバイザーにSVしていただきながら、受け手の経験を積んでいきたい。
  - ・子育てに悩む親に寄り添って、気持ちを聴くということが大切になります。そのために様々な悩みに対応している機関があることなど知識を深めると共に、公的機関にハードルが高いと感じる人に身近に相談できるママパラインの受け手としてさらに研鑽していきたい。

### ◆子育て応援講座参加者から

- ・信頼関係を築く前に相談者へ具体的なアドバイスをしてしまうことがありました。主役は相手であること、今一度振り返るよき機会となり、参考となる心得でした。
- ・子どもに関わる仕事で、対子どもだと正論や道徳観で話してしまうことが多いです。否定な言葉を使わずに、子どもの気持ちに寄り添っていきたい。「沈黙が大切」ということにも理解を深めました。

### 4. 成果と課題

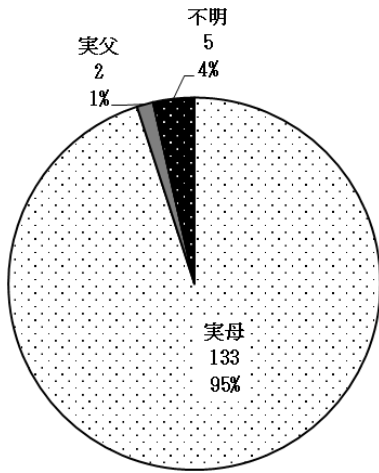
- ・子育ての根底に不安や戸惑いを抱えている親たちに向けて「ママパライン仙台」を周知するカードを作成。行政や諸団体の協力を得て配布・配置することができました。
- ・宮城県PTA連合会・仙台市PTA協議会・宮城県私立幼稚園連合会の後援を頂き、宮城県内の小学校や幼稚園を通して保護者にカードを届けることができました。
- ・毎週金曜日の常設のほか、2月には全国7ヶ所のママパラインと一緒に「ママパライン全国キャンペーン」を6日間開設しました。
- ・子育て中の親にとって行政や専門家等による指導的相談電話とは異なり、悩みや不安、イライラした気持ちを傾聴し共感的に受け止める「ママパライン仙台」の利用が、乳幼児を子育て中の親より学齢期の子どもを持つ親からの電話が増えている傾向がありました。
- ・定期的な研修や講座の実施で自己研鑽を促し、より深く「傾聴」する姿勢を確認し、引き続き活動の質の維持に努めました。
- ・長引くコロナ禍で、気軽におしゃべりしたりストレスを発散させる機会が難しい現状の中で、モヤモヤした気持ち・不安な気持ちを吐き出せる「居場所」のひとつとして本ラインの存在は大切であると思いました。



2022年度ママパライン仙台実施データグラフ

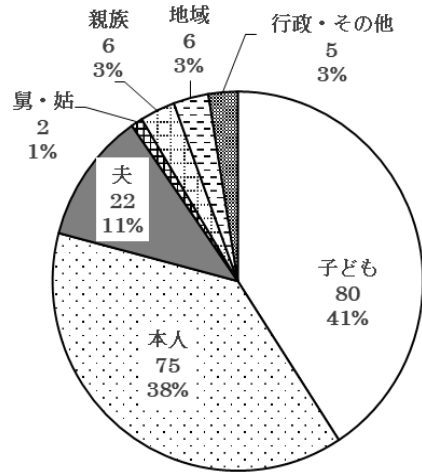
かけてきた人の内訳

(総数：140人)



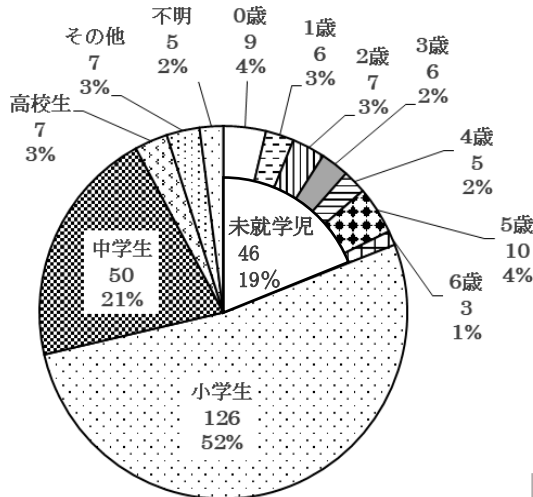
かけてきた人のなやみの内訳

(総数：196件 複数回答有)



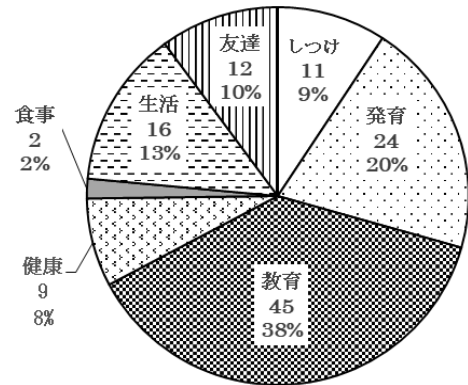
かけてきた人の子どもの年齢

(総数：241人)



子どもについての悩みの内訳

(総数：119件 複数回答有)



241人の子どもの男女の割合  
男：女：不明  
136人：97人：8人



常設の様子



受け手スキルアップ研修の様子



子育て応援講座の様子